

令和 7 (2025) 年度栃木県普及指導活動外部評価結果

項目	視 点	評価		
		A	B	C
事務所名	塩谷南那須農振農業振興事務所			
評価対象事例名	さつまいも産地づくりによる地域振興について			
取組の背景・ねらい	1 現状や問題についての分析は十分か	5	1	0
	2 問題点に対し、適切な課題が設定できているか	4	2	0
	3 施策に合わせた目標を設定しているか	3	3	0
活動対象・活動内容の照会	4 活動対象の選定は適切か	3	3	0
	5 課題や活動対象に対し、活動方法は適切か	5	1	0
	6 市町・JA 等関係機関や試験研究機関との連携は図られているか	4	2	0
	7 活動は計画的かつ効率的に実施されているか	4	2	0
	8 農業者との信頼関係を築き、普及活動を行っているか	4	2	0
活動の成果・今後の対応策	9 実績に対する要因分析がされているか	4	1	1
	10 残された課題について検討されているか	3	2	1

- (1) 評価項目は、各項目の視点に基づき評価する。
(2) 評価基準は、消費者視点も踏まえた上で、以下の3段階とする。
A：良好である B：普通である C：不良である
(3) 評価における数値は、評価対象事例の各項目に対して、A～Cを評価した外部評価委員数を表している。

外部評価委員の意見

<p>【現状や問題についての分析は十分か】 ○目標設定時とのタイムラグは仕方がないが、米価高騰に関する言及は必要だったのではないか。 ○地域特性を考慮したサツマイモの作付拡大に取り組んでいる。</p> <p>【問題点に対し、適切な課題が設定できているか】 ○単収や歩留まりの悪さは水田転作という問題もあるのではないか。 ○「さつまいも躍進戦略」に基づいた生産振興・担い手確保・地域振興の3つの視点を設けている。</p> <p>【施策に合わせた目標を設定しているか】 ○消費拡大を目指す点は評価できるが、地域内消費に限る必要はないのではないか。 ○栽培面積や単収と同様、担い手や地域振興策の具体的な目標設定があっても良かった。</p>

【活動対象の選定は適切か】

- 適切な選定だった。
- 地域振興の観点から自治体担当者や地元高校生らを含めてもよかった。

【課題や活動対象に対し、活動方法は適切か】

- 需要まで含めた活動は評価できるが、生産技術振興など依然単収が低い農家が存在していることから、より適切な方法があったように考える。
- 現地検討会や栽培講習会の開催、省力化を訴える機械の実演会などに取り組んでいた。

【市町・JA等関係機関や試験研究機関との連携は図られているか】

- 連携は十分だった。
- (連携は)おおむね図られている。

【活動は計画的かつ効率的に実施されているか】

- 目標にむけて、何をどこまでやるのかといった計画などが不足していたのではないかな。
- 栽培マニュアルに基づいた定期的な指導や優良事例の共有化が促進できるとより良い。

【農業者との信頼関係を築き、普及活動を行っているか】

- 大幅な規模拡大生産者の存在など、信頼されていることがうかがえる一方、技術や単収のばらつきが大きく、対象となる農業者全体からの信頼獲得が必要だと感じた。
- 令和6年度までの3年間で、生産戸数、栽培面積ともに増加している。

【実績に対する要因分析がされているか】

- どのような生産者で単収が低いのかなどの分析が不十分だった。
- 3つの視点において、それぞれ課題を見出し、対策に取り組んでいる。

【残された課題について検討されているか】

- マニュアルがあってもそれを実施するかどうかに問題あるのではないかな、地域外消費も含めた検討が必要ではないかな。
- 他県などの好例を用いるなど、単収を上げて収益を確保するための具体策がほしかった。

【総合コメント】

- 需要の高まりが期待される品目「さつまいも」での地域振興に成果を上げている。販路拡大や規格外品の活用法など更なる推進を期待する。
- 水田を有効活用した土地利用型園芸での「さつまいも栽培」の普及指導活動がなされ、「生産振興」「担い手確保」「地域振興」の3つの視点をテーマとした発表は大変良かったと感じた。
- 地元の高校生を巻き込んだPRキャラクターデザインの考案は面白い、市町認定ブランド数の増加を追い風に、有力な地域資源となることを期待する。
- 産地形成は容易ではない中、着実に数字を伸ばしている。単収向上をはかり、地域ブランド化が促進されることにより、ブームに左右されない強い地域振興につながると期待します。生産者へのフィードバックなどもとても重要だと思う。